

拡張 DM エディタ バージョン 6.0.51 更新記録

2011/05/25
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 要素リストアップ

メニュー[ツール]-[要素リストアップ]にオプション「異なる Z 値がある(水平でない)面・線」「リストアップ(高い方から)」を追加しました。

データタイプ
 E1面 E2線 E3円 E4円弧
 E5点 E6方向 E7注記 E8属性

分類コード
 すべての分類コード
 分類コードを選択(1)
 分類コードを選択(2)
 分類コードを選択(3)
 砂防基盤地図の3次元取得項目

2次元、3次元
 2次元と3次元すべて
 3次元
 3次元で標高値が全て0.0
 3次元で標高値が-999より高い
 3次元で標高値が-999より高く0.0より低い
 3次元で標高値が-999より高く、全て同じ
 3次元で標高値が-999より高く、一部異なる
 3次元で標高値が-999以下
 2次元
 3次元の標高値

図形区分
 すべての図形区分
 非区分(0)
 射影部の上端(11)
 射影部の下端(12)
 表現補助データ(99)
 表現補助データ(99)以外
 0,11,12,99以外
 定義以外
 指定

間断区分
 すべての間断区分
 間断区分=0
 間断区分=1
 間断区分=2~9

面(E1),線(E2)の点数
 点数は問わない
 2点
 3点以上

面(E1),線(E2)の長さ・面積
 長さは問わない
 長さを指定(2D)
 長さを指定(3D)
長さの最小値
長さの最大値
 面積は問わない
 面積を指定(2D)
面積

その他の条件
 注記の数値の小数点以下桁数が1
 取得年月
 以上 以下
 消去年月が空白か0以外
 要素識別番号=
 異なるZ値がある(水平でない)面・線

処理
 リストアップ(順次)
 リストアップ(長い方から)
 リストアップ(高い方から) ←
 該当要素を削除する
 分類コードを変更する
 注記の線号を変更する
 間断区分を0にする
 間断区分を1にする
 図形区分を変更する
 面(E1)を線(E2)にする
 点(E5)を方向(E6)にする
 方向(E6)を点(E5)にする
 円(E3)を点(E5)にする
 点列の順序を反転する
 標高値を10分の1にする
 標高値を10倍にする
 標高注記(E7)を3次元化する
 レポートパネル出力 ←

OK キャンセル 設定を保存 設定を開く

【異なる Z 値がある(水平でない)面・線】面(E1)と線(E2)について、2点以上の要素で、Z 値が異なる点があれば、その要素をリストアップします。面と線以外の要素はリストアップの対象外になります。例えば、分類コードが 7101-7108 以外の等高線の場合、3次元の建物など、同じ Z 値になっていないケースを抽出できます。

【リストアップ(高い方から)】Z 値が高い方(Z 値が大きい)方からリストアップします。道路など Z 値が異なる要素の場合、最も高い点の Z 値を参照します。2次元の要素は Z=-999.0 として後の方になります。チェックリすとには Z 値を表示します。例えば、分類コードが 7101-7108 以外の等高線をリストアップして、Z 値が誤っていないかを調べることができます。